

2025年度 シラバス

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
柔道整復学各論Ⅱ	講義	2	前期	2	楠岡

授業概要	柔道整復学理論における下肢骨折脱臼について学習する。
到達目標	各骨折の発生機序、症状、合併症、検査法、鑑別診断法、治療法等を学習し、柔道整復師としての必要な知識を習得する。
成績評価	期末試験の結果により評価する。
実務経験	整骨院ならびに長年の整形外科病院での勤務からの経験を交えて教える

前期	講義内容
1	骨盤部(解剖と機能)、骨盤骨骨折(骨盤骨単独骨折、骨盤骨輪骨折)
2	股関節部(解剖と機能)、大腿骨近位部の骨折(大腿骨近位端部骨折)
3	問題演習
4	大腿骨近位端部の骨折(大腿骨近位端部骨折)
5	大腿骨近位端部の骨折(大腿骨近位端部骨折)
6	問題演習
7	大腿部(解剖と機能)、大腿骨骨幹部の骨折(大腿骨骨幹部骨折)
8	大腿骨骨幹部の骨折(大腿骨骨幹部骨折)
9	問題演習
10	膝関節(解剖と機能)、大腿骨遠位端部の骨折(大腿骨遠位端部骨折)
11	大腿骨遠位端部の骨折(大腿骨遠位端部骨折)
12	下腿骨近位端部の骨折(下腿骨近位端部骨折)
13	下腿骨近位端部の骨折(下腿骨近位端部骨折)
14	膝蓋骨(膝蓋骨骨折)、問題演習
15	期末試験
16	解説授業

使用教材	柔道整復学・理論編 第7版 (南江堂)
------	---------------------

2025年度 シラバス

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
柔道整復学各論Ⅱ	講義	2	中期	2	楠岡

授業概要	柔道整復学理論における下肢骨折脱臼について学習する。
到達目標	各脱臼の発生機序、症状、合併症、検査法、鑑別診断法、治療法等を学習し、柔道整復師としての必要な知識を習得する。
成績評価	期末試験の結果により評価する。
実務経験	整骨院ならびに長年の整形外科病院での勤務からの経験を交えて教える

中期	講義内容
1	下腿部(解剖と機能)、下腿骨幹部の骨折(下腿骨骨幹部骨折)
2	下腿骨幹部の骨折(下腿骨幹部骨折)、足関節の損傷(解剖と機能)、
3	下腿遠位端部の骨折(下腿遠位端部骨折および足関節の脱臼骨折)
4	下腿遠位端部の骨折(下腿遠位端部骨折および足関節の脱臼骨折)
5	問題演習
6	足関節部(解剖と機能)、足部・趾部(解剖と機能)
7	足根部の骨折(距骨・踵骨骨折)
8	足根部の骨折(舟状骨・立方骨・楔状骨骨折)、中足骨骨折、趾骨骨折
9	問題演習
10	股関節脱臼(後方・前方・中心性脱臼)
11	膝蓋骨脱臼、膝関節脱臼(それに伴う複合靭帯損傷)
12	問題演習
13	横足根関節(シヨパール関節)損傷、足根中足関節(リスフラン関節)損傷
14	中足趾関節、指節間関節の脱臼、問題演習
15	期末試験
16	解説授業

使用教材	柔道整復学・理論編 第7版 (南江堂)
------	---------------------